

海外たばこ事業 2019年実績及び2020年ガイダンス

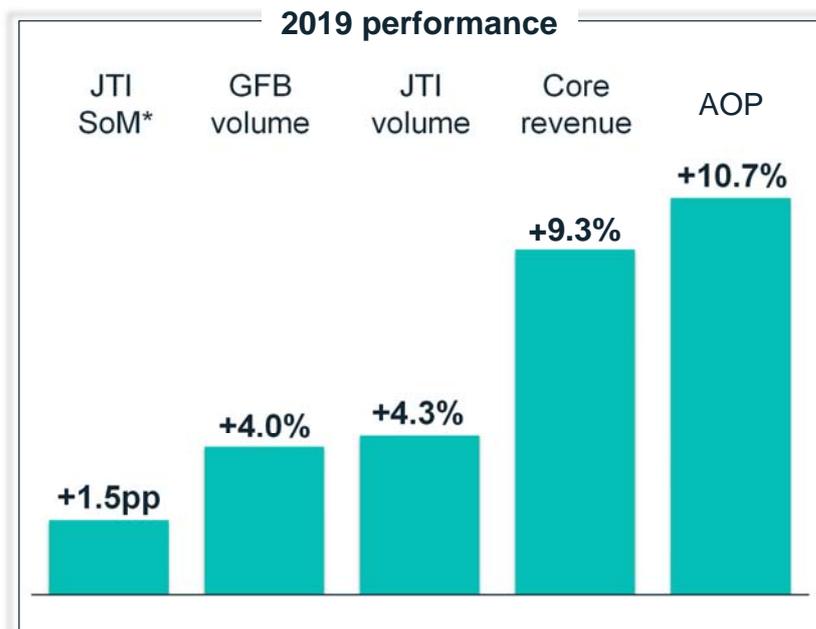
Eddy Pirard
JTI President & Chief Executive Officer

将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

2019年実績 卓越したパフォーマンスを発揮



- 買収効果及びシェア増に牽引され販売数量は増加
- 業界の数量トレンドを大きく上回るオーガニックでの堅調なパフォーマンス
- 全てのGFBブランドで成長を継続
- 力強いPrice/mix効果
- 為替一定ベースの自社たばこ売上収益及び調整後営業利益も力強く推移

© Copyright JT 2020

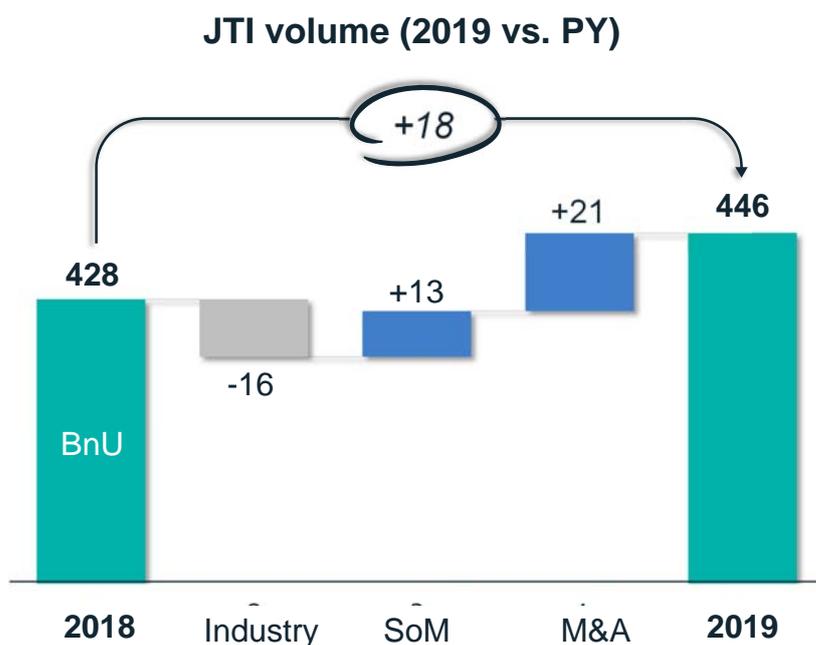
Tokyo – February 7, 2020

JT Investor Meeting

3

Note: 2019 variance vs. PY. Core revenue and AOP (adjusted operating profit) at constant currency. * Based on JTI's top-30 markets (cigarettes + fine cut).

買収効果とシェア増加に牽引され販売数量は大幅に増加



- バングラデシュ及びロシアにおける買収により販売数量は大幅に増加
- 継続するシェアモメンタムが力強いオーガニックのパフォーマンスを支える
- オーガニックの数量 (-0.8%) は総需要のトレンド (-3.7%) を上回る
- 70を超える市場で数量増を達成

© Copyright JT 2020

Tokyo – February 7, 2020

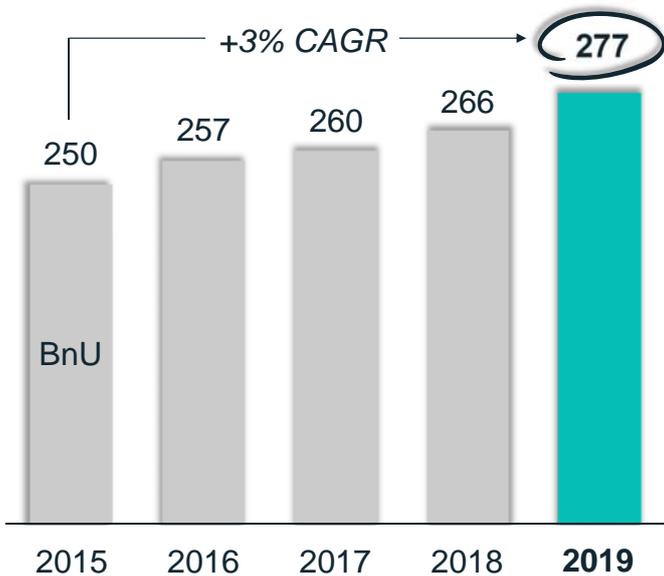
JT Investor Meeting

4

Note: Shipment volume (cigarettes + other tobacco products). * Industry volume trend in 2019 across JTI's top-30 markets.

GFBの数量成長が継続

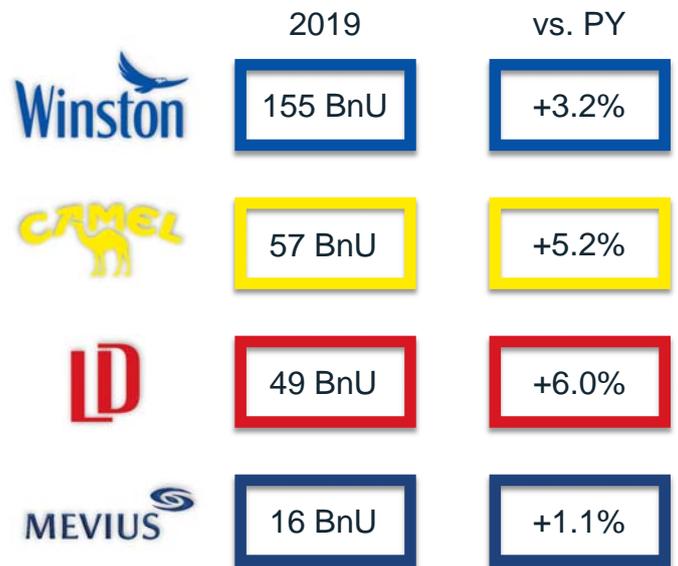
GFB volume evolution (2015-2019)



© Copyright JT 2020
Note: Shipment volume (cigarettes + other tobacco products).

Tokyo – February 7, 2020

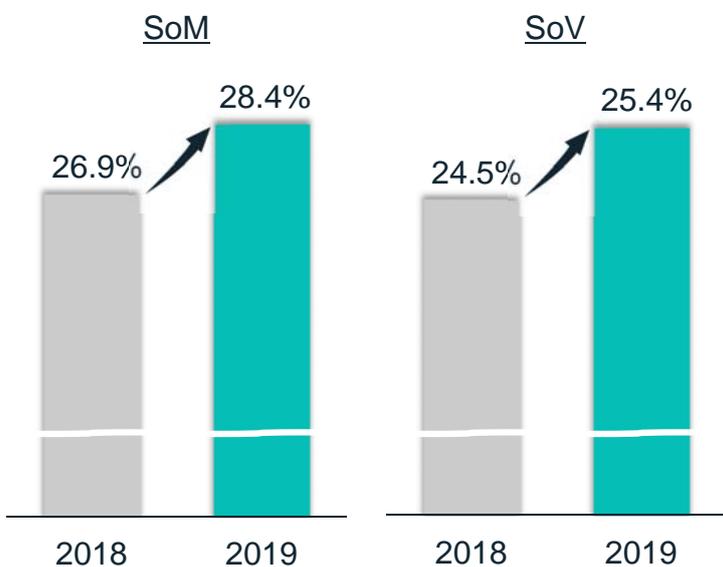
GFB volume in 2019



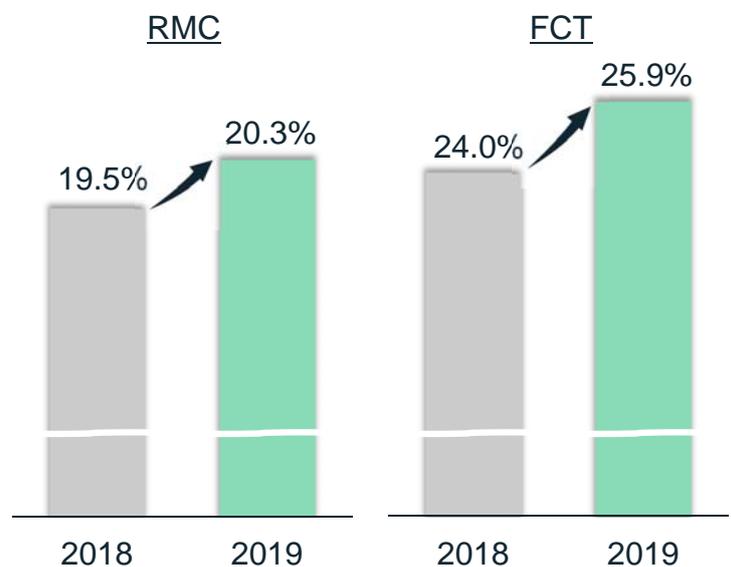
JT Investor Meeting 5

欧州をはじめとした堅調なシェアモメンタム

JTI share in top-30 markets



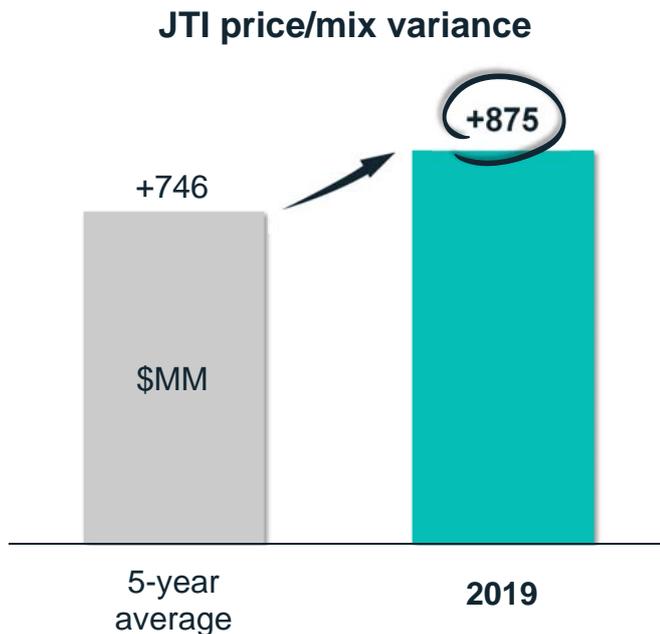
JTI share of market in Europe*



© Copyright JT 2020
Tokyo – February 7, 2020
* Comprising North & Central Europe and South & West Europe. Note: JTI SoM and SoV for RMC and fine cut combined. RMC stands for ready-made cigarettes and FCT for fine cut

JT Investor Meeting 6

力強いプライシング効果



- CRへのPrice/mix効果の貢献は過去5年平均を上回る
- フランス、ロシア、トルコ、UKを含む主要市場で力強いプライシング効果が発現
- ドイツ、イラン及びフィリピンでも堅調なプライシング効果

© Copyright JT 2020

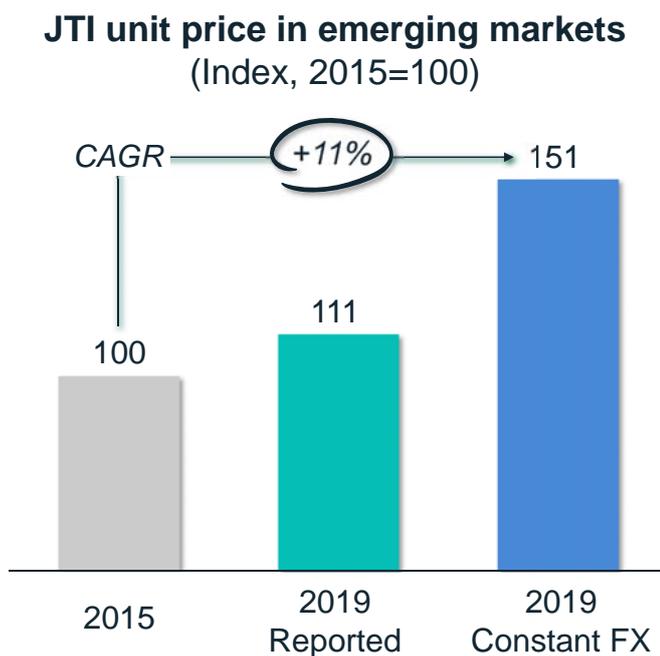
Tokyo – February 7, 2020

JT Investor Meeting

7

Note: The above figures are related to price/mix contribution to core revenue growth at constant currency.

新興市場の単価は継続的に上昇



- 新興市場における販売数量は2019年JTI数量の67%を占める
- 2015年以降、新興市場の単価は年平均
 - 為替一定ベースで11%増加
 - 財務報告ベースで3%増加
- 新興市場からのPrice/mix効果は引き続き拡大を見込む

© Copyright JT 2020

Tokyo – February 7, 2020

JT Investor Meeting

8

Note: Unit price = core revenue per thousand stick equivalent units. Emerging markets classification based on World Bank income groups.

ロシア – 底堅い市場シェアと堅調なプライシング

Share evolution (2019 vs. PY)



- 市場シェアは39%と底堅い
- 主にLDに牽引されGFBシェアは継続的に増加
- Donskoy Tabakは期待通りに伸長している低価格帯においてJTIのリーダーシップを強化
- 強力なブランドエクイティ背景にプライシング機会を捕捉

© Copyright JT 2020

Tokyo – February 7, 2020

JT Investor Meeting

9

Source: Internal estimates, Nielsen. * Like-for-like basis: as if JTI had owned Donskoy Tabak from January 1, 2018. Note: SoS stands for Share of Segment.

ロシア – 2020年 堅調な見通し

- 2020年のRMC総需要の動向は、近年と同水準で推移
- 底堅いプライシング環境
- 2020年上半期における高温加熱型デバイスの発売により、RRPポートフォリオの拡大
- ロシアNo.1ブランドであるウィンストンのたばこスティック



© Copyright JT 2020

Tokyo – February 7, 2020

JT Investor Meeting

10

UK –リーダーシップの強化

JTI share evolution (2019 vs. PY, pp)

	SoM	SoV
RMC + FCT	+2.2	+1.8
RMC	+1.8	+1.7
FCT	+2.4	+2.1
E-VAPOR*	+2.8	+0.6

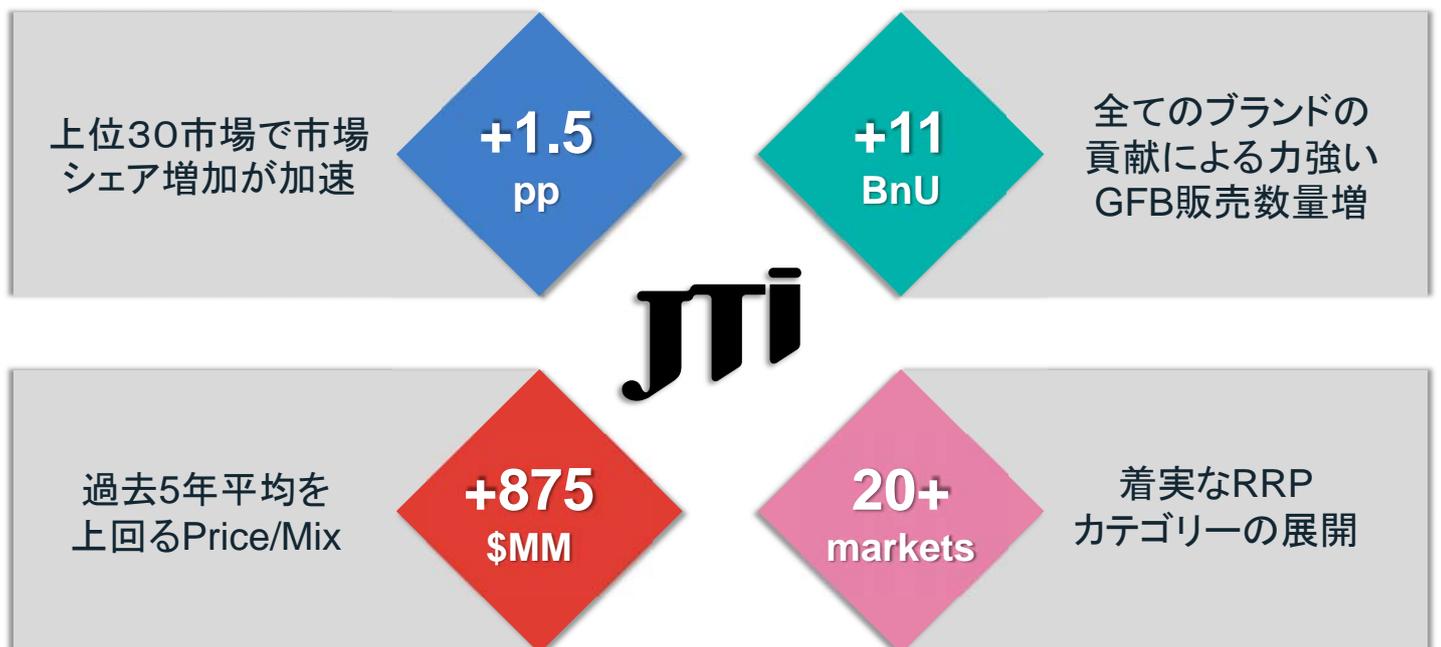


- 市場シェアは、RMC及びFine Cut両方の増加により、過去最高を記録
- Logic Compact及びNordic Spiritを基軸としたRRPにおける着実な進捗
- 堅調な2020年見込



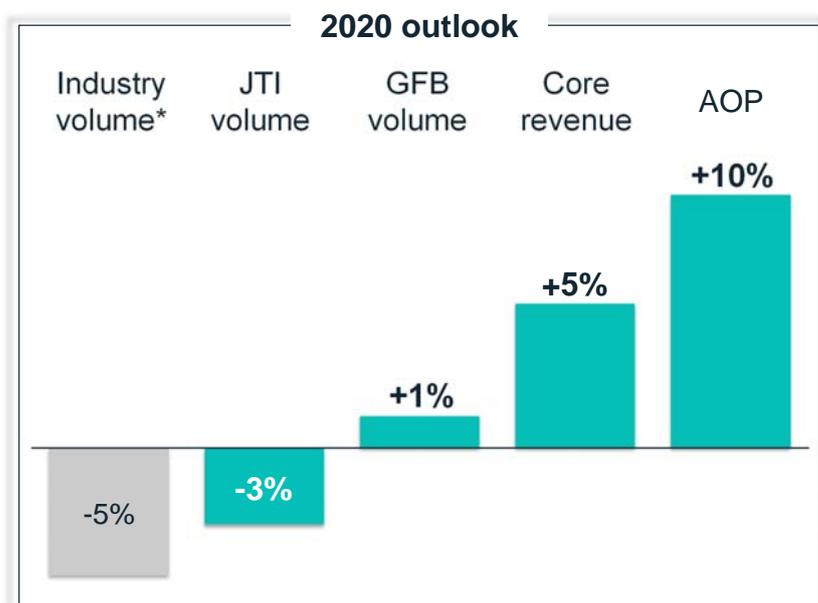
© Copyright JT 2020 Tokyo – February 7, 2020
 Source: Internal estimates, IRI. * Refills, traditional retail only. Note: RMC stands for ready-made cigarettes and FCT for fine cut

2020年 力強いモメンタムが継続



© Copyright JT 2020
 Note: Share of market, GFB volume and Price/mix increases in 2019 vs. PY.

2020 – 持続的成長のコミット



- 総販売数量は総需要トレンドを上回る
- 継続的なGFBの成長
- ポジティブなプライシング環境
- シガレット、RRPカテゴリー及び新たなケイパビリティ獲得に向けた投資をしつつ、力強い利益成長を図る